



Tikkurila 塗料 再塗装手順

1) 作業前に、必要な準備を行い、以前の塗装状態などを確認します。

1. 必要な作業ツール、製品などをすべて事前に準備してください。
2. スムーズに作業を行うため作業手順を確認してください。
3. ガラス面などの塗装を行わない面を保護し、周囲環境は特に注意して保護してください。



2) 表面から汚れを取り除きます。

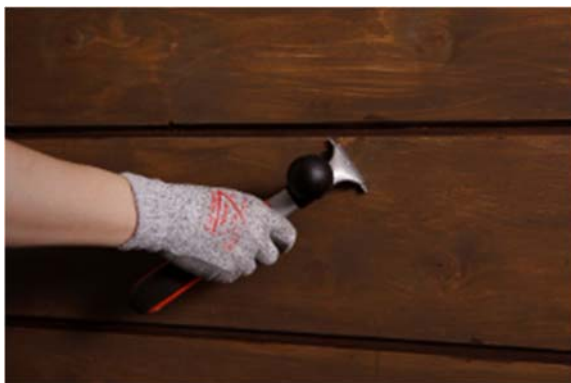
既塗装面

汚れたり、カビが生えたりしている表面をカビ除去剤等で洗い、十分にすすぎ、しっかりと乾燥させます。



3) 既塗装面の場合は、剥がれ落ちて付着力の弱い古い塗装面を除去し、同時に変色した木の表面を除去します。

1. スクレーパーなどを使用して取り除きます。
2. スチールスパチュラなどでレジンを取り除き、釘のヘッドなどメタル部分のさびを落とします。
3. 光沢があり硬い、良好な状態の古い塗装面を取り除くか、サンディングして、塗料がのりやすいように仕上げます。サンドペーパー（最初に # 100、仕上げを # 150）をかけ、マットな状態にします。サンドのカスはきれいに取り除きます。
4. 木部の悪くなった部分は取り替えます。





4) 木肌の見える部分はバルッティベース(プライマー)を塗装します。(1度塗り)

1. プライマー塗装の際は、よくかき混ぜてから使用してください。
2. 継ぎ目や端を注意して塗装してください。
3. 24時間後に上塗り可能です。



5) 部分的な塗装 (刷毛 1回塗り)

1. 使用前および使用中に塗料をよく混ぜてください
2. 木の継ぎ目や端を丁寧に塗装してください。



6) 全体的な上塗り (刷毛 1~2回塗り)

1. 使用前および使用中に塗料をよく混ぜてください。
2. 塗装の継ぎ目を避けるために均等に刷毛で端から端まで、一度に慎重に塗装します。
3. 木の継ぎ目や端面も丁寧に塗装してください。

均一な表面を得るには、色の違いを避けるために、1つの容器に十分な量の塗料を混合して使用してください。



半透明の仕上がり：バルッティプラスケストまたはバルッティプラスカラーを2度塗り

半透明パール光沢の仕上がり：バルッティアークティックを2度塗り

塗りつぶしの仕上がり：バルッティオパークを2度塗り



半透明の仕上りの塗料を使った再塗装の場合は、以前の色と同じかそれより濃い（暗め）の色をお選び下さい。

以前の塗装面を特定する方法

メンテナンス塗装を行う際は、以前にどの塗料で塗装されていたかを知ることは重要です。メンテナンス塗装は前回と同じ塗料か同じタイプの塗料で行われることがよくあります。アクリレート塗料は、水性のアクリレート塗料のメンテナンス塗料として適しています。

水性アクリレートペイント（バルッティオパークなど）

塗装面は柔軟性があり、曲げても割れません。

粉っぽくない

表面の亀裂は木目と平行に走る

家庭用アルコール（エタノール、シノールなど）は、洗浄時に明らかに表面を柔らかくし、溶解します。

灰汁処理では柔らかくなったり変色したりしません

燃えにくく、煙は「プラスチック」のような臭いがします

半透明塗料 ステイン（バルッティアクアカラー、バルッティカラー、バルッティアークティック）

均一な塗膜が無い

木目が透けて見える

特に南向きと西向きの壁では、経年劣化が激しくなります。

半透明塗料 ステイン（バルッティプラスケスト）

ワニスのような塗膜

木目が透けて見える

耐久性のある結果を得るには

■ 塗装の時期とコンディション

本塗装前にログが十分乾燥しているかどうか確認してください。ログの含水率は 20 %未満が適切です。

ログや板の木口は下塗り塗料と仕上げ塗料を注意深く塗ります。木口からは水分が構造体に吸収されやすいからです。

塗装は塗装面が充分乾燥しており、気温は 5℃以上、湿度は 80 %以下の条件でおこないます。雨天、または雨天になりそうな時はおこなわないでください。無風で曇天が木材塗装に最適です。雨が降った後は木材の表面が完全に乾いてから塗装を続けてください。塗装に最も適した天候は、穏やかで、暖かく乾燥していてしかも曇りの日です。洗浄剤や塗料の飛びちりから保護する為、植物を光が当たるように透明のプラスチック類で保護して下さい。



■ 木材表面の清掃

塗装する面の埃やゴミを取り除きます。

カビや青グサレが見られる場合はカビ除去剤で洗浄します。深部まで到達した青グサレは、除去剤で洗浄しても完全には落ちません。その場合、青グサレの色が目立たないような、濃い色やブルーグレー系の透明有色塗料あるいは隠蔽（木目の見えない）塗料を選ぶとよいでしょう。

■ 塗り方に関するヒント

刷毛塗りのほうがスプレーより良い塗装方法です。少なくとも初回の塗装は刷毛で行ってください。

透明塗料の塗装中は、刷毛の継ぎ目が乾かないように連続して塗ります。乾いた部分に重ね塗りした場合、他の部分より色が濃くなってしまいます。このようにならないように、ログは一本ずつ、水平方向の端から端まで連続して塗るようにしてください。

参考動画

半透明ステイン：

https://www.youtube.com/watch?v=vVmE_6Gq7Xc

塗りつぶし：

<https://www.youtube.com/watch?v=fWuYLi1sRX0>

本和訳は、便宜のために作成された英語/フィンランド語版原本の非公式訳の概要説明です。

原本と本和訳の間に齟齬がある場合、原本が優先します。